

新人ナース Diary 第6回

院内留学編 Part-2

院内留学とは

自部署の一般的な疾患の治療や看護について、関係部署での関わりを学び、病棟での看護に活かすことを目的に新人が他部署に半日程度の研修に行きます。

5階病棟

5階病棟には、循環器疾患を中心とした内科の患者が入院しています。そこで、血管造影室・栄養管理科を見学しました。



前田 恵理



池田 真唯

① その部署を留学先に選んだ理由は？

血管造影室への留学を選びました。理由は、患者さんが体験していることを知ることにより、今後患者さんへの説明や観察内容をより有意義なものにできると考えました。



院内留学先：血管造影室

③ この経験をどのように活かしますか？

手術に対する患者さんの思いに耳を傾けて、適切な説明のもと、患者さんが安全に手術を終えることができるように介入していきたいと思います。

② 実際に院内留学をしてみてどうでしたか？

局所麻酔下で行われる手術であったため、手術の進行具合を確認しながら、患者さんへの説明を行い、不安軽減に努めていることを学ぶことができました。



院内留学先：栄養管理科

① その部署を留学先に選んだ理由は？

虚血性心疾患の再狭窄予防のために、管理栄養士の指導方法を学び、今後自分がパンフレット指導をする際に理解しやすい説明ができるように役立てるためです。

② 実際に院内留学をしてみてどうでしたか？

患者さんの生活習慣を伺いながら、個人に合わせた内容で患者さんが取り組みそうなところからポイントを絞り指導をすることが大切であると理解しました。

また、今後自分が個別性のある指導をするのに活かすことができると感じました。

そして、理解しやすい指導を行うには、自分の知識を深めることも必要であると学びました。

③ この経験をどのように活かしますか？

生活習慣に合わせた取りかかりやすいものから行い、退院後も無理なく続けられるように個別性のある指導を行うことができるようにしていきたいです。